

2019 年度事業報告（全国川ごみネットワーク）

1. 全国水辺のごみ調査「水辺のごみ見つけ！」の実施

- ・水辺のごみの散乱状況を調査し、ごみの散乱防止対策に役立てることを目的に、継続し（4年目）、全国規模でのごみ調査「水辺のごみ見つけ！」を4月～11月の期間で実施した。
- ・スマートフォンからでも容易に結果を報告できるような報告フォームを用意した。
- ・調査場所は、河川・海・湖沼などの水辺に加え、新たにまちも対象に加えた。
- ・実施にあたっては、全国水環境マップ実行委員会を通じ、「身近な水環境の全国一斉調査」実施団体者（約 800）に前年度の報告付のパンフレットを配布した。他にも、募集用チラシ（1,000部）を制作・印刷し、イベント等で参加呼びかけをするとともに配布し、団体・個人としての参加を募った。
- ・水辺のごみ拾い活動に参加し、ごみ分別の説明、補助等を行い、ごみ調査の広報啓発を行った（琵琶湖（4/14）、空堀川（4/20）、隅田川（6/15））。



写真 1 琵琶湖川での清掃活動(4/14)



写真 2 空堀川での清掃活動(4/21)



写真 3 隅田川でのクリーンアップ(6/16)

- ・前年度同様に、ごみ拾いのポータルサイト「BLUE SHIP」（運営：NPO 法人海さくら）と連携し、11月10日を「川ごみゼロの日」とし、特設ページを用意いただき参加を呼びかけた。

- ・473件の報告を受け、調査結果を集計とりまとめて公表した。（ペットボトル 33,848本、レジ袋 15,019枚、カップ型飲料容器 2,091個）

- ・結果を調査報告パンフにまとめ、調査参加者などへフィードバックするとともに、次年度の調査参加を促すよう配布した。

- ・調査結果を、PET ボトルリサイクル推進協議会、全国清涼飲料連合会、プラスチック工業連盟、プラスチック循環利用協会、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会へ持参し説明した。



図 1 BLUE SHIP の特設ページ

2. 水辺のごみ削減学習ツールの検討

①水辺のごみ削減学習プログラムの検討（地球環境基金 LOVE BLUE 助成事業）

- ・「水辺のごみ削減学習プログラム検討会」を6月24日(月)に千代田プラットフォームスクウェアで開催した。荒川、山形で実施されている環境学習プログラムを共有し、その活用方法、今年度のモデルプログラムの効果向上の工夫などを検討した。
- ・まち探検&ごみ拾い[滋賀県草津市・志津わんぱく協働合校](8/3)、川しらべ活動[東京都・杉並区立井荻小学校](9/4)、ウォーキングごみ拾い[神奈川県藤沢市・NPO 法人海さくら](10/19)、クリーンキャンペーン[山梨県富士吉田市・ミライ・桂川、桂川・相模川流域協議会](11/24)の4パターンで、それぞれ地域の団体に共催・協力いただき学習プログラムを取り入れたごみ拾いを実施した。
- ・一連のプログラムをとりまとめホームページに公開した。



図2 ホームページでの学習プログラム紹介

②川ごみ削減啓発ツールの検討（河川基金助成事業）

- ・川ごみ削減啓発ツールとしての河川ごみマップの利活用がすすむよう、5河川事務所および市民団体に属する5名にヒアリングを実施した。結果をとりまとめ、ヒアリング先、および国土交通省河川環境課の担当者に報告したとともに、ホームページに公開した。

ヒアリング先： 仙山河川国道事務所[名取川、広瀬川](1/21)、
木曾川下流河川事務所[木曾川](1/23)、
三重河川国道事務所[鈴鹿川、雲出川、櫛田川、宮川](1/24)、
遠賀川河川事務所[遠賀川](12/13)、
八代河川国道事務所[球磨川](12/23)、
カワラバン、広瀬川1万人プロジェクト 菅原正徳氏(1/21)、
水・環境ネット東北 谷田貝泰子氏(1/21)、
桂川・相模川流域協議会 日向 治子氏(11/24)、
浜松の海を守る会 山田 優子(1/26)、
遠賀川流域住民の会 原口公子氏(12/13)

3. 川ごみサミットの開催

- ・11月9日(土)に、徳島県徳島市とくぎんトモニプラザ大会議室において、第5回川ごみサミット in とくしま実行委員会（吉野川交流推進会議、徳島県河川協会、NPO 法人環境首都とくしま創造センター、徳島県）が共催となり、第5回川ごみサミット in とくしまを開催した。

各地の川ごみ削減の事例紹介、様々な河川の活動団体との交流を行いながら、多様なセクター間で意見交換を行った。参加者200名。



写真4 川ごみサミット in とくしま

4. 川ごみ対策の推進に向けた情報収集・情報発信・普及啓発

- ・環境省の調査業務である「海洋ごみ削減のための複数自治体等連携による発生抑制対策等モデル事業等実施業務に係る発生抑制対策等の検討業務」への協力、国土交通省の調査業務である「河川ごみ対策に関連する情報収集整理業務」への協力を行い、川ごみ対策を推進した。
- ・関連するイベントなどに積極的に参加し、川ごみの課題を共有し、その対策の普及啓発を推進した。(別表1参照)
- ・市民団体等と連携し、「減プラスチック社会提言書」を環境大臣宛に提出した。
- ・ホームページ、Facebook を随時更新し、情報を発信した。

5. 組織運営

- ・5月15日(水)に理事会を開催し、事業計画、予算等について検討した。
その他毎月の有志ミーティング、および随時Eメールにおいて各種事業の企画運営等を検討し、進捗等を確認した。
- ・年間を通じ広く会員を募集した。年度内に、正会員5団体・2個人、賛同会員4団体・2個人がそれぞれ新たに入会した。(正会員24団体・11個人、賛同会員7団体・6個人となった)

別表1 イベント、講演等での普及啓発

- ・5月12日(日) 江東区「まちごみ探検隊」講師
(主催: NPO 法人えこ・あくしょん江東、会場: えこくる江東)
 - ・6月3日(月) 減プラスチック社会を実現するNGOネットワークの院内集会で発表
 - ・7月30日(火) 海と日本プロジェクト in 長野 「天竜川調査隊」講師
(主催: 海と日本プロジェクト in 長野県実行委員会、会場: 長野県駒ヶ根市天竜川河川敷)
 - ・8月4日(土) やまなしプラスチックごみ削減サミットでパネルディスカッション登壇
(主催: 山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト、会場: 山梨県防災新館)
 - ・8月6-9日(火-金) 下水道展の会場内(スイスイ下水道研究所ブース内)でのパネル展示・発表
(主催: 日本下水道協会、会場: パシフィコ横浜)
 - ・9月5日(木) 九都県市講演会の会場内でパネル展示
(主催: 九都県市首脳会議海洋プラスチックごみ問題検討会、会場: コミュニティプラザ・コルソ)
 - ・9月14日(土) 海と日本プロジェクト in 長野 「天竜川調査隊」講師
(主催: 海と日本プロジェクト in 長野県実行委員会、会場: 浜松市中田島砂丘)
 - ・10月5-6日(土・日) いい川・いい川づくりワークショップ in 滋賀・京都で発表、ポスターセッション
(主催: いい川・いい川づくりワークショップ実行委員会、会場: ピアザ淡海他)
 - ・10月6日(日) すぎなみエコ路地フェスタ 2019 トークショー講師
(主催: 杉並区、会場: 杉並清掃工場 見学者説明室)
 - ・10月26-27日(土・日) ところざわ市民フェスティバルでパネル展示 (主催: 所沢市)
 - ・10月27日(日) 東京湾大感謝祭の会場内(東京都環境局他のブース内)での広報
(主催: 東京湾再生推進懷疑、会場: 横浜赤レンガ広場)
 - ・12月22日(日) 青少年干潟を守るワークショップで講演
(主催: 次世代のためにがんばろ会、会場: やつしろハーモニーホール)
 - ・1月19日(日) 釣りフェスティバル 2020 会場内で発表
(主催: 日本釣用品工業会、会場: パシフィコ横浜展示ホール)
 - ・2月11日(祝) あらかわ学会年次大会 2019 で発表
(主催: あらかわ学会、会場: 北千住マルイシアター1010)
 - ・2月16日(日) 2Rカレッジでワークショップの講師
(主催: 京都ごみ減量推進会議、会場: 登録会館第ホール)
 - ・2月23日(日) 海洋プラスチックごみから海鳥を守ろうシンポジウムで講演
(主催: 日本野鳥の会、会場: 法政大学市ヶ谷キャンパス)
 - ・2月25日(火) プラスチック海洋ごみ問題に関する講演会で講演
(主催: 日本プラスチック工業連盟、会場: ハロー会議室茅場町駅前)
- その他、自由学園 JIYU アフタースクール (7/2)、上智大学・渡辺ゼミ (10/18)、法政大学・坂本ゼミ (12/3)、市川市立妙典小学校 (1/9, 2/13) でゲストティーチャー



写真5 下水道展